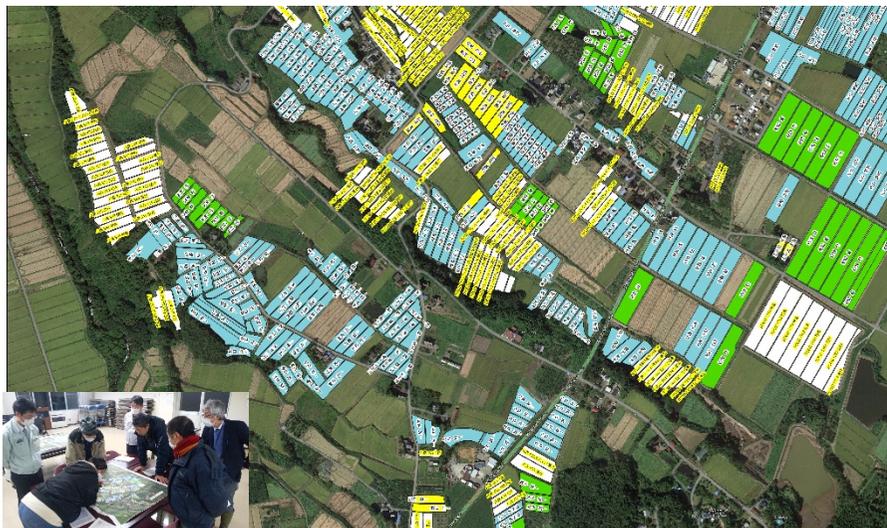


話し合いの様子 川代山・泉野・八森地域を対象として実施した話し合い。



↓②アンケートの結果(将来の意向を反映した地図)から10年後の利用を検討します。(緑色→拡大 水色→維持 黄色→縮小 白→離農)



←①現在の利用状況図(作物や耕作者で色分けした地図)を確認し、課題や将来像を検討します。

川代山・泉野・八森地域計画(案)抜粋

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・区割りの小さいほ場や、軟弱なほ場も少なくないことから、集約化への工夫が必要である。
- ・中心経営体のほ場については、ある程度の団地化が図られているものの、作業の効率化を図るうえでも更なる集約化が望まれる。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・水稲を主要作物としつつ、果樹、園芸作物の栽培による複合経営の安定化を図る。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積・集団化の取組

- ・農地利用最適化推進委員と連携を密にし、中間管理機構を通じて担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を進める。・中心となる経営体と連携するもの(兼業農家・自給的農家)は、農地の貸付、水管理、集落営農オペレータ等の役割を担うほか、知見を活かした助言を行う。

(2) 農地中間管理機構の活用方法

- ・農地異動は原則として中間管理機構を活用することとし、担い手の経営意向を踏まえて段階的に集約化する。

(3) 基盤整備事業への取組

- ・村中に小区画で不整形なほ場が多いため、将来の基盤整備実施により解消を図ることを検討する。
- ・生産性向上土地改良事業補助金などを活用し、改良や大区画化を図る。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組

- ・市(農業委員会)及びJAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。

(5) 農業協同組合等の農業サービス事業者等への農作業委託の取組

- ・作業の効率化が期待できる防除作業は、引き続きJA傘下の組合等に委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

農作物被害のみならず農作業中の安全を確保する観点から、周辺地域と強調して誘因物の発生防止に努める。

↑③結果を地域計画の素案として鶴岡市ホームページで公表します。

実施準備が整い次第ご案内しますのでご協力をお願いします。